

第1回小松小学校及び東沢小学校による開校準備委員会会議録

1 期 日 平成28年8月1日(月) 19時00分～19時53分

2 場 所 中央公民館「大ホール」

3 出席委員(25名)

江本委員、高橋(文)委員、安部委員、山口委員、高橋(勲)委員、西谷委員、佐藤(ま)委員、宇野委員、飯田委員、長谷川委員、片倉委員、滝田委員、横山委員、佐々木(和)委員、佐々木(賢)委員、佐々木(満)委員、手塚委員、鈴木委員、登坂委員、高橋(秀)委員、小野委員、木村委員、齋藤委員、吉村委員、高橋(恵)委員

4 欠席委員(5名)

佐藤(博)委員、金子委員、寒河江委員、高橋(聡)委員、工藤委員

5 事務局(8名)

小野教育長、緒形課長、有坂主幹、船木主任指導主事、金子主査、寒河江主査、梅津指導主事、佐々木主任

6 会議経過

委員会開会前に、小松小学校及び東沢小学校開校準備委員会設置要綱(以下「設置要綱」という。)により、本委員会の目的等を事務局より説明し、その後緒形課長の進行で進められ、委嘱状の交付として緒形課長が各委員の氏名を読み上げ、代表として江本委員に小野教育長より委嘱状を交付した。

委嘱状の交付後、小野教育長より、平成27年度に行われた東沢小学校学区再編検討委員会の協議結果をもとに本委員会が開催されるものであり、小松小学校及び東沢小学校の特色を活かした学校となるよう、協議いただきたい旨のあいさつがあった。

7 委員長及び副委員長の互選

委員長及び副委員長の互選までは、緒形課長が取りまとめを行うこととし、委員長及び副委員長については、設置要綱第5条の規定により委員の互選によって定めるものとしているため、委員の意見を求めたが、意見等無いため、事務局案として委員長として江本一男委員、副委員長として佐々木和憲委員を提案し、了承を得た。

8 報 告

報告以降について、江本委員長が議長となり、事務局より次の報告を行った。

これまでの学区再編に係る経過、特に東沢小学校学区再編検討委員会の協議経過等について、事務局より報告し、質疑等無かった。

9 協 議

(1) 小学校学区再編の方針について

小学校学区再編の方針について、東沢小学校の学区の再編、学区再編整備の内容（新たな通学区域、目標年次、校舎について）を中心に説明し、質疑等なく、承認を得た。

(2) 小学校学区再編の進め方について

開校準備委員会の設置、委員数、委員の構成、協議内容について説明し、協議内容については、学校経営部会、PTA・交流部会、通学部会、総務部会の4専門部会を設置して集中的に協議していくことについて、承認を得た。

(3) 校名、校歌及び校章について

校名、校歌及び校章については、大きな課題であり、専門部会で協議するのではなく、全体会で協議していただきたい旨を事務局から説明し、次の協議を行った。

委員：私たち東沢小学校学区再編検討委員会の学区再編に係る協議結果が基で、今回の開校準備委員会の開催となったことから、小松小学校区の委員の方々におかれましては、ご足労いただいた事に感謝したい。

初めてこの委員会に出席したところであり、私たちは、小松小学校の校歌、校章がどのようなものか分からない状態であるので、それをこの場で決定するというのは、難しいのではないかと。

今日は、提案をいただくこととし、校歌、校章については、これから教えていただきながら、検討する期間を設定していただければ、ありがたい。

小松小学校は、長い歴史を有し、校名、校歌、校章について変えていただきたいとは軽々しく言えるものではないと考えている。

東沢地区で協議をする時間をいただきたいと考える。

議長：ただ今の意見は、一度地区に持ち帰って協議をさせていただきたいとのご意見でした。他にはございませんか。

委員：今回開校準備委員会に参加させていただき、小松小学校の校歌、校章については、どのようなものなのか知りたいと思います。

私見という事になるのですが、どちらかと言うと、東沢小学校が小松小学校へ吸収合併という方向になると感じているので、小松小学校の校歌等について、よく知りたいと思います。

議長：初めての会議という事もあり、他の校歌や校章もお互い理解していない部分もある事から、次回の会議に委ねるという事も考えなければならないでしょうか。

委員：私は、東沢地区の子どもたちが、小松小学校さんに受け入れをしていただくという様に考えているところであり、校名、校歌、校章、運動着について継続していただく事を、東沢地区の方々にご了解をいただきながら進めていかなければならないと感じている。

小松小学校の歴史も調べさせていただきましたが、大変すばらしい歴史と伝統のある学校であり、方向性としては現在の小松小学校の校名、校歌、校

章についても継続していただきたいと考えている。

仮に新たな内容でと考える事となれば、労力を要することになり、その後の協議にも支障が生ずると考えられるので、地域の方々にもご理解いただけるように、十分議論を交わしていきたいと考えております。

議長：ただ今のご意見は、地区としてもご理解を得られるものと考えているが、一度地区で協議をしたいというものでありました。今回の委員会では、その方向性を決定するという事は、時期尚早という事でしょうか。

委員：時期尚早と考える。1回集まって今日決めるという事は無理なのではないか。

議長：ただ今、東沢地区の委員より時期尚早とのご意見がありましたが、小松地区の委員の方のご意見等ございませんか。

委員：個人的に考えるのだが、東沢地区で意見聴取など行い、十分審議していただき、意思を統一していただいてということが前提でないと、小松側としても嫌な思いをしてしまう。

小松の方は、東沢から今までのままで良いと言っていたのであれば、大きな問題は無いと思う。ただし、今後決定した後に遺恨を残さないように、東沢地区でしっかりと議論をし、意思の統一を図っていただきたい。

よって、この場で決定するというのではなく、東沢地区で議論していただき、次回の委員会で決定していただきたいと考えます。

議長：ただ今のご意見では、東沢地区で議論いただき、合意された内容を次回の委員会に持って来ていただきたいという意見でした。

事務局：今、ご意見をいただき、この場での決定は時期尚早との事でありましたので、東沢地区において、校名、校歌、校章について協議する場等を設定したい。協議の方法については、佐々木副委員長と相談させていただき、進めさせていただきたいと考えるが、いかがでしょうか。

議長：事務局から、再提案いただきましたが、本件が決定しないと前には進めないと考えられますので、東沢地区で、校名、校歌、校章について、ご協議いただき、その結論が出た後に、再度本委員会を開催し、決定するという事でよろしいでしょうか。

全委員：異議なし。

議長：それでは、校名、校歌、校章については、次回の委員会で再度協議することとします。

(4) 準備スケジュールについて

資料に基づき、教育委員会、開校準備委員会、専門部会、当該学校、議会、町報掲載のスケジュールについて、説明するとともに、開校準備委員会については、(3)での東沢地区での協議の結果を経てから、9月頃に第2回目を開催したい旨を説明し、承認を得た。

(5) その他

資料により、小松小学校、東沢小学校の平成28年度以降の児童数、学級数予想、平成30年4月から学区再編した場合の児童数、学級数予想について、説明した。

10 閉会（19時53分）

※ 閉会后各専門部会に分かれて、専門部長を選出していただき、専門部会ごとに解散した。

専門部会長

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1 学 校 経 営 部 会 | 長谷川千秋委員（小松小学校校長） |
| 2 P T A ・ 交 流 部 会 | 高橋文一委員（小松小学校教育後援会副会長） |
| 3 通 学 部 会 | 山口徳夫委員（小松地区自治会長会会長） |
| 4 総 務 部 会 | 安部哲男委員（小松地区交流センター長） |